

平成二十六年 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成二十六年五月一日～平成二十六年七月末

投句数 二、六二一句

特選三句

天

梅雨ふかし鎌倉宮に灯の入りて

神奈川県三浦市 秦 孝浩

地

山門の涼し海風通り抜け

神奈川県川崎市麻生区 和田容子

人

あじさいの色を競いて東慶寺

神奈川県横浜市青葉区 寺橋正光

入選句

一般の部

あこがれの文士の墓に風薫る

神奈川県横浜市磯子区

津崎早苗

七谷戸の鎌倉山や時鳥

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

白日傘辻説法の跡に立つ

千葉県印旛郡

中嶋久登

薔薇見つつ世界旅行をしてみたく

埼玉県狭山市

古谷多賀子

半僧坊法鼓ひびきけり若葉風

東京都狛江市

舘岡靖子

紫陽花の向こうに海や成就院

大阪府豊中市

安藤知明

うぐいすの声清らかに参拝す

埼玉県加須市

松永とみ江

トンネルを抜けて四葩の極楽寺

神奈川県横浜市泉区

吉田克己

薫風や大谷戸小谷戸鳶の笛

神奈川県鎌倉市

米山信夫

原稿の文字の涼しき由紀夫かな

埼玉県春日部市

村上浩

老鶯や石窯パンの焼き上り

神奈川県藤沢市

宮浦美枝子

山門の新郎新婦風薫る

神奈川県横浜市港南区

石川正明

老鶯の声の高まる古刹かな

神奈川県横浜市港南区

田阪武夫

水打って塩盛る古都の老舗かな

神奈川県逗子市

森澤謙二郎

伽羅路の一献誘ふ夕餉かな

千葉県船橋市

前原慶輔

(順不同)

入選句

子どもの部

高德院大仏に鳴く時鳥

愛知県岡崎市

山口修平

涼風にどんと大仏そびえたる

愛知県岡崎市

土屋拓実

水無月の空に大仏きれいかな

愛知県岡崎市

荻野七菜子

鎌倉の暑さに負けぬ人力車

愛知県岡崎市

小島良奈

江ノ電が夏木のそばを走ってく

愛知県岡崎市

青木美咲希

かぜがふきあおばがゆれるけんちようじ

神奈川県横浜市泉区

篠原凜生

万緑が八幡宮を包んでる

神奈川県横浜市戸塚区

片平彩夏

長谷寺で新緑ながめ海ながめ

埼玉県さいたま市南区

芦内結依

あじさいのいろとりどりのうつくしさ

神奈川県横浜市泉区

中藺拓斗

梅雨の中大仏さまは座ってる

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

大橋佑香

あじさいが輝きを増す雨あがり

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

足立和穂

江ノ電が運んで来るよ初夏の風

神奈川県横浜市保土ヶ谷区

松隈あさみ

暑い日は小町通りで一休み

神奈川県横浜市神奈川区

今野夏希

六月の日差しを受けて鎌倉へ

神奈川県横浜市神奈川区

能美彩音

あじさいと海とのコラボ絶景だ

神奈川県横浜市神奈川区

濱田なつみ

(順不同)